



The service club to the YMCA
 THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2017年3月会報 第342号

- 主 題 ・ 標 語
- 国際会長(I P) JOAN WILSON (カナダ)
 主 題: “ Our Future Begins Today ”
 「私達の未来は、今日から始まる」
- アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao
 主 題: “ Respect Y's Movement ”
 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 西日本区理事(RD) 岩本 悟 (熊本にし)
 主 題: 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」
 “ Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit ”
- 副 題: 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」
 Doubling membership through having substantial
 Meetings and active service!
- 六甲部部长 長井 慎吾(西宮)
 主 題: 「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で
 更なるクラブ活性化を図ろう」
- 宝塚クラブ会長 若林 成幸
 主 題: 「限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ JWJF(西日本ワイズ基金)

イエスは言われた。「きっと、あなたがたは、『医者よ、自分自身を治せ』ということわざを引いて、『カファルナウムでいろいろなことをしたと聞いたが、郷里のここでもしてくれ』と言うにちがいない。」そして、言われた。「はっきり言っておく。預言者は、自分の故郷では歓迎されないものだ。(ルカ 4章 23~24 節)

2017年3月例会

日 時 : 2017年3月8日(水)18:30
 場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間
 会 費 : 会員3, 100円、会員外3, 500円
 ドライバー 堀江裕一 福田宏子

開会点鐘 若林 成幸会長
 ワイズソング 全 員
 ゲスト・ビジター紹介 会 長
 聖書朗読 石田由美子
 祈 禱 多胡葉子
 晩 餐 一 同

お話し 草野 修 氏
 「水中写真に見る魚の生態と環境」

インフォメーション
 YMCAニュース
 誕生日記念日

閉会点鐘 若林成幸会長

| | |
|------------------|---|
| 2016/17 役 員 | 会 長 若林成幸 直前会長 鯖尻佳子 副会長 多胡葉子 書 記 武田寿子 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネツト連絡 福田素子 |
| 事 業 委員長 | Y M C A サービス・ユース 多胡葉子 地域奉仕・環境 福田宏子・EMC 杉谷和代 交 流 石田由美子 ・ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘 |
| 特別事業 委員長 | N G O 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 多胡葉子 市民クリスマス若林成幸 |
| お誕生日 おめでとう! | 吉田 明(4日) 福田 素子 (2日) 加藤光信(12日) |
| 2 月 実 績 | 例会出席者数 19名 在籍会員数 19名(功労会員1) 出席会員数 14名 出席率 77.80% メイクアップ(内数) 2名 メネツト 1名 コメツト・孫メツト0名、ゲスト・ビジター4名 |
| | B F ポイント 2月 3,300円 累 計 19,491円 にこにこBOX 2月 1,000円 累 計 25,500円 ファンド(物品販売) 5,000円 累 計 59,665円 |

2月第1例会報告

宝塚クラブ2月例会、2017年2月18日(水曜日)若林会長の点鐘で始まりました。例年2月はTOF例会で食べ物で困っている人を考えて断食の月です。今月は珍

しく参加者の少ない例会でした。しかし、ワイズと深い関係ある神戸YMCAに共通のつながり



のある山口幸氏をスピーカーとして迎え、私達にも将来関係してくる高齢者福祉の問題や、興味あるお話を聞きました。山口幸氏は大学で人間科学を学び、スウェーデンで高齢者福祉・障害者福祉を学ばれて帰国後は祖父が作られた社会福祉法人光朔会オリンピアで働かれて仕事場オリンピアの理念(一部省略)である、

「その人らしい」暮らしを実現するケア

おひとりが生活の主人公として、住み慣れた地域で、これまで通り、「その人らしい」暮らしを安心して続けるお手伝いをさせていただきます。。

いつもそばに「寄り添う」

オリンピアのスタッフは、ケアを通して、自分を磨き、学び、成長します。人生の大先輩である利用者みなさまに敬意を持ち、これまで培ってこられた歴史や文化を受け継いでいきます。

「家庭のような」ぬくもりのあるホーム

オリンピアのホームは、木をふんだんに使い、ぬくもりのある家庭のような環境になっています。

「生きる力」を育む保育

オリンピアは、子どもたちが、神様の恵みのもとに、喜びをもって生きる力を育みます。

すべてを「分かち合う」保育者

オリンピアの保育者は、イエス・キリストとの交わりに支えられ、弛まず努力し、ともに成長します。

介護支援の話を書きました。最後に各委員会の報告やYMCAの報告そして誕生祝いをして、若林会長の閉会点鐘で閉会しました

長尾 亘

2月第2例会報告

日時:2017年2月15日(水)18時30分-20時30分

場 所:宝塚西公民館 会議室

出席者:若林、長尾、多胡、堀江、石田、福田(宏)
青柳、吉田、石田、武田 計10名

議 題:

1. 3~5月の例会

◎日時 3月8日(水)18時30分~20時30分

卓話 草野 修氏

NAUIスクーパーインストラクター

「水中写真で見る魚の生態・海の環境」

◎日時 4月12日(水)18時30分~20時30分

卓話 若林寛之氏

関学大学院卒 元 JETORO 理事

英国・エジプト事務所長を歴任。

東アジア貿易研究所長

「北朝鮮の今をどう考えるか」

◎日時 5月10日(水)18時30分~20時30分

卓話 中江孝一氏

JICA シニアボランティアとして

ペルーへ赴任、高齢者福祉担当

「ペルーでの高齢者福祉を経験して」

3か月の会合のプログラムを印刷した葉書で各会員がゲストを勧誘する。今までのように3ヶ月の会合スピーカー案内チラシはホームページ用とし、各スピーカーに顔写真を依頼する。

2. 各委員会関連の行事

3月4～5日 NGO展(NGO連絡協議会)

宝塚クラブは参加を辞退(開催趣旨に合致した出店が出来ないため)TIFA(宝塚国際交流協会)との交流方法は継続して検討。

3月11日(土)14:00～16:00 揚がれ!希望の風～震災追悼のつどい～

凧づくり・凧揚げ・ピアノコンサート

(中村 徹&中村 健)

主催:はんしん自立の家、共催:宝塚クラブ・武庫川がっこう

参加者は1時現地集合、準備を手伝い、凧揚げをむこにゃん広場で行い、はんしん自立の家へ移動し、2時46分黙とうして、ピアノコンサートに移る。3月8日FMにてPR 多胡

3. チャリティー・バザー開催について 5月27日(土)内容は昨年度と同じにする。

4月になったら協賛、後援など団体、企業に依頼、準備日5月25、26日、パンフ・チラシ多胡から谷川に依頼

ラッキー券2500枚用意、当日来場で、抽選漏れの人には残念賞を考える

4. 2018年西日本区大会について

各小委員会(総務・広報・会場・プログラム・会計)が活動開始。

総務委員会の報告が石田からあり、今後総務委員会から一人は小委員会に出席してほしい。各小委員会開催後の議事録は総務委員会に送る。総務の職務範囲を確認、プログラム委員会2月16日、会計委員会2月23日、第2回実行委員会2月27日(月)

5. その他の行事

3月11日(土)15:00～17:00 神戸Y総主事と各クラブ会長との懇談会 若林出席

3月18～19(日) 次期会長・主査研修会 武田、若林出席

・3月18日(土)13:00～17:00 地球市民育成プロジェクト第6期認証式 在日韓国YMCAにて3月19日(日)14:00～ 神戸YMCA 三宮会館 完成記念礼拝 武田出席

・6月9～11日 第20回西日本区大会 菊池温泉ホテル→菊池市文化会館→ホテル日航熊本、各自申し込(参加者予定者、若林、多胡、石田、武田)DBCをする予定

・7月21～23日 第27回アジア地域大会 タイ・チェンマイ(参加者未定)

6. ブリテン3月号編集 原稿締め切り2月25日、校正2月26-28日 3月1日発信予定

原稿依頼2月例会 長尾、第二例会 武田、なかのしまクラブ周年例会 青柳、

三田バレンタインコンサート 水谷、会長の言葉 若林、YMCAニュース 谷川

7. 会計関係報告及び検討事項が吉田からあり(別紙)西日本区諸献金及び、支出の確認が承認された。

その他 例会出席者数 14名、ゲスト4名

メネット1名 例会出席者 19名(メイクアップ2名)

BFポイント2月 3300円(累計19491円)、ニコニコボックス2月 1000(累計25500円)、ファンド 5000円(累計59665円)

3月例会 ドライバー堀江、福田(宏)、聖書朗読 石田、祈祷 多胡

書記 武田寿子

会長から

自然の営みに春を感じる頃となりました。

宝塚クラブ皆様の多方面にわたる活躍を嬉しく思います。



(バレンタインチョコレートを貰う若林会長)

2月11日には大雪予報が出る中、さんだクラブの「ヴァレンタイン・コンサート」に福田(宏)・水谷・長尾・若林が出かけ、楽しいショーに笑い転げまし

た。呼び物は、“マエストロ足立”のギャグいっぱい
の音楽漫談。アンデスの笛「ケ
ナー」に惹かれ
種々の民族笛
を練習する中で、
楽器作りを覚え、
ついにはリサイ



クル楽器を作ってしまった丹波市在住の元学校の
先生。何と、古い竹箒の笛(吹き掃除)・タンバリン
と子供用の浮き輪を組み合わせたウクレレ(浮くれ



レ)などが続々と。
マエストロの人
気の実験に納
得した次第。

2月24日には、はんしん自
立の家の「車い
す甲山登山隊」が日本山岳協会の特別表彰式に
招かれ、多胡・若林が出席しました。昨秋までの10
年間わたる甲山山頂を目指す取り組みが評価され
たもの。宝塚クラブは昨10月の10回目登山の出
発式では特設応援団をつくり、鐘や太鼓の鳴り物
入りで声援を送りました。お茶の会では応援団にご
一緒していただいた奈良市からお見えの「日英協
会」代表者や県の福祉事業関係者と、地域社会が
障害者支援活動をする意義を噛みしめるひととき
となりました。

重松メンにはワイズの広報関係で色々とお世話
になっており、感謝です。3～5月例会のチラシを
作っていただきました。3月は、「海洋生物と環境」
を水中写真で、4月は、「北朝鮮の今を」でタイムリ
ーな

話題をとりあげ、5月「ペルー在留邦人の高齢者問
題」を語っていただきます。このように3ヶ月単位
のチラシを作ってみて例会への関心を高め、ワイズ
活動のアピールを試みっていますが、残念ながら
成果はまだ見えませんね。PRの難しさ、EMCのた
めに乗り越えねばならない壁を感じています。

若林成幸

例会ゲスト・プロフィール

草野 修 氏

1943年宮崎県日向市に生れる。

現在、NAUISクーパーインストラクター・有限会社
クレセントインター
ナショナル勤務。
日本ボーイスカウ
ト兵庫連盟・公益
財団法人神戸Y
MCA・日本水泳
連盟・日本体育協
会などで活躍。



YMCA会員継続56年。

他クラブ訪問

なかのしまクラブ

20周年記念祝会に参加して

20周年を迎えられた大阪中之島クラブは女性だけ
のクラブの特徴を生かしながら「最優秀クラブ賞」
等数々の栄光の歴史を歩んで来られた。その為か
2月11日の祝会が行われたホテルグランビア大阪
の会場には日本全国から、又DBCの京都ツービ
ークラブから16名の男性群の参加など総勢161名
のワイズメンで溢れかえった。

記念礼拝でもローソクを持ったメンバーの入場に
始まり、メンバー一人ひとりの祈りに続きこれからの
道への宣言など、ワイズメンとしてのしなやかで力
強い意気込みが伝わってきた。

第二部のアトラクションは自身「自閉症」の障害を
抱えながらピアニスト、作曲家として活躍しておら
れる34才の中村徹さんとお父様の中村健さんの
「発達障害を考える」トークも交えた連弾ピアノコン
サートだった。ご両親の愛情と徹さんの感性と才能

が響き合った一つ一つの曲がいつまでも忘れられず力をいただいた気がする。
宝塚クラブから、石田、多胡、青柳が出席し、第三部の懇親会も楽しんだ。

青柳美知子

【今月のみ言葉】

この聖句は、主イエスがガリラヤで宣教活動を開始された直後に、故郷ナザレに赴き、その地の会堂での礼拝で語った説教の一節です。当初ナザレの人々は、主イエスが語る神の言葉に感嘆の声を上げましたが、途中から態度を一変させて主イエスに反感を抱くようになり、最終的には主イエスを町から追放しようとしています。

当初は好意的であったナザレの人々が最終的に主イエスに躓いたのは、地域主義や民族主義に捉われない主イエスの開かれた宣教姿勢のためであったと考えられます。彼らは他郷であるカファルナウムで主イエスが様々な奇跡を行ったことを耳にし、まず自分の故郷でこそ奇跡を披露するように要求します。それに対して主イエスは彼らの要求を退けますが、何より自分たちの親族や身内、地域のことだけを考えようとする彼らの偏狭な姿勢を批判したのです。
事実、身内のみを大事にしようという地縁・民族主義は自ずと他者を排斥する排外主義へと繋がっていきます。まさに今日、故郷を追われ、行き場を失っている「難民」の数が7千万人を超すとも言われていますが、そのような人々の受け入れを拒否し、自国の経済的利益にのみ関心を寄せようとする自国第一主義の流れが世界中に広がりつつあります。その意味ではこの聖句は、そのように困窮して助けを求める隣人に門戸を閉ざし、身内の幸せのみを追い求めようとする現代社会のあり方に警鐘を鳴らしているように思えてきます。

嶺重 淑

YMCA だより



ワイズ歴ではまだ中盤から終盤ですが、YMCA歴では今年度もあと1か月。次年度の準備に向けてあわただしい時となっています。私のボーイスカウト歴は非常に浅いので諸先輩方にいうのはばかれますが、多数の経験や学びで一番心に根付いているのは「備えよ、常に(Be prepared)」という言葉です。

この4月にはいよいよ新たな会館が神戸YMCAに与えられます。この数年続いていた大きな計画の最後のピースともいえる新会館の建立です。これだけのものを与えられた私たちは次にどのようなステップを切るか、非常に大事な局面を迎えているとも言えます。

次年度への準備、新たな歩みへの備え、まさにそのための貴重な時間となっています。多くの方と語り感じ、導きを確かなものとするための時間としてこの月が過ごせるようにと切に願っています。

3月の保育園の聖句は「主はわたしの光、わたしの救い わたしは誰を恐れよう。(詩編 27章4節)」です。私たちは今のこと、すぐ先のことを一生懸命に備えようとしていますが、いつも主が備えてくださった道を歩んでいることを信じつつ、自分の歩みを確かなものにすることが肝要だと感じています。

1) 神戸YMCA三宮会館

例会時にもお伝えした通り、いよいよ建物は完成をしており、先日は施主検査も行い、いくつかの手直しを経て引き渡される運びとなっています。3月19日には、工事関係の方、ワイズ代表の方、YMCAの役員の皆さんで完成記念礼拝を守り、これからの歩みへの願いを一つにします。また5月13日には知事や神戸市長などを招いた記念式典を行います。ワイズの皆さんには5月8日の神戸YMCA創立記念日礼

拝や5月13日のオープンデーの際にぜひお越しいただければと思っています。

新会館は高齢者施設と一体化された建物であり、しばらくはセキュリティーや部屋の使い方、など様子を見ながら運用させていただいています。ワイズも西日本区大会準備の忙しくなる時ですが、利用などについてはしばらくお待ちいただいていることご了承ください。詳細は神戸YMCAホームページをご覧ください
(<http://www.kobeymca.org/>)

2) あかしこども広場

今年より、明石駅前の再開発事業で作られた「パピオスあかし」に設けられた「あかしこども広場」の運営委託を神戸YMCAが受諾しています。場所は明石駅すぐの良地となっています。主な業務として子育て支援センターとして、こども図書室やプレイルーム、乳幼児の一時預かり、また大きな遊具をそろえた親子交流スペースやキッチンルーム、工作ルームなどの貸室があります。幼稚園、保育園の運営で期待される地域での子育て支援の一つの形です。近くに行かれる際はぜひお立ち寄りください

<http://www.kobeymca.org/akashi-kodomo-hiroba/>

3) 近況報告

神戸YMCAに長く献身されてその後教会への道を歩まれている中村和光さんですが、現在、日本キリスト教団門司大里教会(もじだいきょうかい)の牧師とられています。中村さんは神戸YMCA職員で主に教育部門、本部事務局長を担当され、退職後に関西学院大学大学院神学研究科で学ばれた後、2014年4月からこの教会に着任し牧師の道を歩まれています。

2018年西日本区大会(神戸) 実行委員会報告コーナー

2017年2月27日(月)、18:30から神戸YMCAで第2回実行委員会を開催しました。

この1ヶ月間に小委員会全てが持たれ来年に向かって一歩の歩みが報告されました。

その中から幾つかの報告・トピックスをご紹介します。

まず大野勉次期理事は、この大会は「元気を発信し音楽溢れるもの」にしたいと大会コンセプトを話されました。

会計委員会は大会登録費をいくりにするかを決定するために各委員会からの予算、会場費用、などを早く入手し金額を決める予定です。

プログラム委員会は、時間配分、ゲストスピーカー依頼の進捗状況を報告。懇親会のメニューは神戸らしく中国料理を提案、アトラクションとして中華街の獅子舞を検討、又、フェローシップアワーにスイーツも入れる等アイデアがどんどん飛び出しました。

間もなくチラシ第一報が出来上がり、3月18日(土)次期会長・主査研修会でのアピールでデビューします。テーマカラー、グリーンを基調にした爽やかなデザインは重松えみりワイズの作品です。

今回は3月27日(月)を予定しています。

大会実行委員長 石田由美子

揚がれ！希望の凧
2017年のプロジェクト

「車いす甲山登山」
平成28年度日本山岳協会特別表彰
受賞授与式

私たち宝塚ワイズが地域の中でいろいろな関わりをさせていただいているチェシャーホーム「はんしん自立の家」は車いす甲山登山を2006年から10年続けてこられました。第10回目の最後の登山は昨年10月22日でした。その時に宝塚ワイズとして即席応援団を結成し、登山をされる方々にエールを送り見送るという関わりをさせていただきました。

「夢はかなうもの」の自立の家の入居者の方々、職員の方々の強い思いは登山家の續 素美代さんの心を捉えました。10年間彼女の指導のもと5人ずつの入居者の方々と約100人のボランティアの方々がともに自立の家からくっきり見える約300メートルの甲山登山がなされたのです。登りは車いすを担ぎ、下りはおぶっての下山。入居者の方々



毎年5人ずつ10年間登ることで、50人の全員が登頂を果たすことができたとのこと。

障害があっても誰でも夢は持っています。障害があるからと夢を諦めるのではなく、多くの方々の関わりが実現へと導いてくれるという本当に素晴らしい体験を10年間続けてこられました。このことが日本山岳協会の方々の耳に入り、今年の新春懇談会特別表彰を受けることになったとのこと。表彰式は東京で續さんが代表で授受して下さったとのこと。

そして2月24日に山岳協会の会長はじめ兵庫県の関係者の方々により、直接入居者の方に表彰状を手渡しして下さるセレモニーが開催され、若林会長と多胡が宝塚ワイズから出席しました。

ボランティアとして関わられた関西学院大学ワンダーフォーゲル部、同大学 UP to you, 神戸医療福祉専門学校三田校からの各代表者そして宝塚ワイズから若林会長も入居者代表の方とともに表彰状を授受するセレモニーに参加しました。

その後参加者約100人の方々とともにトーンチャイムを演奏し、一階のロビーでつまがりの美味しいシュークリームとコーヒーで懇親のひと時を過ごし散会となりました。

宝塚ワイズは次は3月11日(土)揚がれ！希望の凧！の震災のつどいを自立の家の方々と開催します。

多胡葉子

- ※ 一階のロービーでは中村道子氏(中村徹氏母)作成のパッチワークの展示をします。
- ※ 室内プログラムとして絵本の読み聞かせがあります。

「揚がれ！希望の凧」～震災追悼のつどい～プログラム

■日時:2017年3月11日(土) 13:00～16:00

■場所:はんしん自立の家・武庫川河川敷 (むこにゃん広場)

| スケジュール | プログラム | |
|-------------|---------------|----------------------------------|
| 13:00～ | 会場準備・ポリ袋で凧作り | 当日、希望される皆さんにお渡します。 |
| 13:45～ | むこにゃん広場へ移動 | 「はんしん自立の家」から「むこにゃん広場」に移動 |
| 14:00～14:20 | ●凧揚げ | 「むこにゃん広場」において凧揚げ |
| 14:30～ | ●自立の家2階ホールへ移動 | 自立の家2階ホールにて |
| 14:45～14:46 | 黙祷 | 被災者を偲んで黙祷 |
| 14:46～15:45 | 中村徹・健 連弾ピアノ | 曲目 |
| | | 中村 徹 : 連弾の為の「チャルダッシュ」」、「謝肉祭」より |
| | | 中村徹編曲 モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より |
| 15:45～16:00 | ●フラとコーラス | フラ「花は咲く」 コーラス「千の風」 |
| 16:00 | 閉会の挨拶 | |
| 16:00～ | お茶とケーキで懇親会 | はんしん自立の家の一階ロビーで |